

地域の足の活性化検討調査

報 告 書

平成30年3月

埼 玉 県

目次

はじめに	1
1. 交通の現状等	2
1.1 県土の状況	2
1.2 人口の状況	4
1.3 交通の状況	16
1.4 公共交通に対するニーズ	45
1.5 県内交通事業者の状況	58
2. 県内公共交通に係る課題	60
2.1 県内公共交通の特徴	60
2.2 県内公共交通の課題	64
2.3 留意すべき事項	66
3. 県内の地域公共交通の今後の方向性	67
3.1 基本方針	67
3.2 対応方針	67
3.3 関係主体の役割分担	95
3.4 検討プロセス	96
4. モデル地域における活性化方策の検討	103
4.1 モデル地域における活性化方策の検討フロー	103
4.2 モデル地域で検討するテーマ	103
4.3 モデル地域の選定	104
4.4 モデル地域の現状	107
4.5 秩父地域における地域公共交通活性化方策の検討（ケーススタディ）	153
4.6 東松山地域における地域公共交通活性化方策の検討（ケーススタディ）	171
4.7 八潮地域における地域公共交通活性化方策の検討（ケーススタディ）	193
モデル地域における検討会を行って	210
5. 参考事例の収集整理	212
5.1 多様な需要増加策による公共交通の維持・活性化に関連する先進事例調査	212
5.2 シームレスな公共交通ネットワークの構築に関連する先進事例調査	216
5.3 複数市町村の連携による公共交通改善策の推進に関連する先進事例調査	219
5.4 地域内の交通システムの更なる改善に関連する先進事例調査	221
おわりに	231
参考	233
県内公共交通のあり方検討会の開催経緯	233
モデル地域における検討会の開催経緯	233
県内公共交通のあり方検討会委員名簿	234
モデル地域における検討会の出席団体	235
用語集	236

はじめに

本県では少子高齢化や人口構造の大きな変化が見込まれており、環境の変化に対応して、地域社会が将来にわたる持続的発展を実現するには、県民の日常生活を支える地域公共交通の果たす役割がますます重要になります。

高齢者の増加や運転免許証の自主返納制度の普及に伴い、移動手段のない高齢者の増加が見込まれており、バスなどの地域公共交通には便利で安全な「地域の足」としての活性化が求められています。また、地域公共交通には観光客等の来訪者に対して、移動手段を確保するという役割もあります。

そこで県では、平成28年度から平成29年度にかけて県内の公共交通について現状分析と課題整理を行い、地域公共交通の活性化に向けた方策を検討するため、有識者、交通事業者、国、県等の行政機関等で構成する「県内公共交通のあり方検討会」を設置し、検討を進めてきました。

また、県内の3地域をモデル地域として設定し、現状分析や課題整理、モデル地域における具体的方策の検討を行いました。モデル地域での検討においては、地域の実情を踏まえながら、先進事例も参考として考えられる方策を取り上げ、関係者間で役割分担や課題の解決方法の検討を行いました。

地域公共交通を活性化し持続可能なものとするには、公共交通に携わる関係者が日頃から情報交換を行い、課題に応じて連携して対応していく必要があります。

この報告書は、県内の公共交通における現状と課題、活性化に向けた今後の方向性と対応方針、役割分担や検討プロセス、モデル地域における現状と課題や活性化に向けた具体的方策、先進的な参考事例を収集・整理し、とりまとめたものです。